



moon ark room

<https://youtu.be/Qz4eJb6SC1o>



暮らしの記憶を、未来に保存するメタバースサービス

「月のはこべや」は、家や部屋を3Dスキャンし、月面のメタバース空間上に保存するメタバースサービス。このコンセプトは、2021年に米アリゾナ大学が発表した、地球の危機に備えて生命のDNAを月に冷凍保存するという「月の方舟」計画から着想を得ています。部屋は引っ越しや取り壊しなどでいつか消えてしまったり、時間が経つにつれ変わっていくものですが、3Dデータとして残すことにより、いつでもその頃のままの空間に戻れるような体験ができたらと考えました。



HOW TO USE



01 部屋を3Dスキャン

スマートフォンを使って、あなたが残したい家や部屋をスキャンします。



02 メタバース上に保存

スキャンしたデータをメタバースの月面上で設置した家にアップロード。

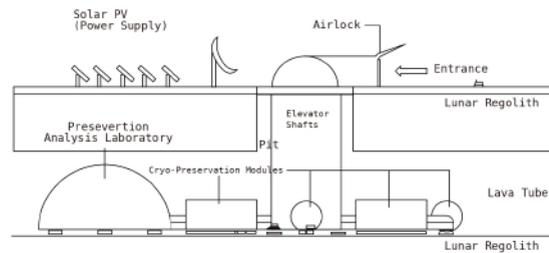


03 思い出の空間を楽しむ

自分の家にアクセスし、いつでもあの頃のままの空間を体験できます。

「月の方舟」計画とは

2021年に米アリゾナ大学の研究チームが提案した、地球滅亡の事態に備えて月面に「ノアの方舟」を建設し、地球上の生命670万種の種子や孢子、精子、卵子のサンプルを保存するという計画。種子を凍結保存して月の地下トンネルや洞窟網に隠しておくことで、生物多様性の激減によって引き起こされる「地球壊滅」が起きた場合でも遺伝物質を守ることができるとしている。同様の貯蔵庫は地球上にも存在し、ノルウェーと北極の間に位置するスバル諸島では約100万種の種子サンプルが保存されている。月では2013年に200あまりの地下溶岩洞が発見されている。洞窟は約100メートルの直径があり、太陽放射や地表の気温変動、微小隕石から種子を守る完璧なシェルターになると研究チームは想定している。



暮らしの記憶を、未来に保存する

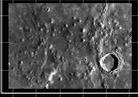
部屋には記憶が宿っています。
夕飯を知らせる懐かしい匂い、輝の音と懐しい投甲の笑顔、夜遅くまで机に向かっていたあの頃の熱量、
しかし、人々の思い出が詰まった家や部屋は、時に取り壊され、時に成長とともに形を変え、時に引っ越しとともに消えてしまいます。
「月のほこべや」は、あなたの大切な部屋を月に保存するメタバースサービスです。
家や部屋を3Dスキャンし、メタバース上の月面に設置した家にデータとして保存することで、
いつでもあの頃のままの空間を体験できます。
地球の生命を月に保存する「月の方舟」のように、
あなたの暮らしの記憶を未来に保存しよう。



CASE1

初めての一人暮らしのワンルーム

303.3°E, 14.2°N



Area : Oceanus Procellarum
Adress : Marius Hills #2



20XX-00-00
0-000 Ogawa-cho, Kodaira City, Tokyo, 187-8505 Japan

CASE2

取り壊し予定のおばあちゃんの家

19.9°N, 37.3°S



Area : Mare Tranquilitatis
Adress : Sinus Amoris #3

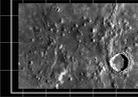


20XX-00-00
0-000 xxxxx-Ku, xxxxxx City, Fukuoka, 800-0000 Japan

CASE3

こどものころの懐かしい部屋

303.3°E, 14.2°N



Area : Oceanus Procellarum
Adress : Marius Hills #2



20XX-00-00
0-000 xxxxx-dai, xxxxxx City, Tokyo, 000-0000 Japan

